

各地区業況アンケート結果（2022年3月調査分）

（2022年3月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、3月24日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ77名の回答があり（回答率54.6%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、(数は回答実数)

1. 売上数量は前年割れ、金額は増加

問1】貴社の2月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	9	24	16	18	76	72
比率	12%	12%	31%	21%	24%	DI-32	DI-6
売上金額/前年同月比	34	9	18	6	9	76	73
比率	45%	12%	23%	8%	12%	DI+70	DI+96

2. 収益状況は変わらず、赤字は2割弱

問2】貴社の2月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	20	23	20	10	4	77	74
比率	26%	30%	26%	13%	5%	DI+58	DI+57

3. 春先も全向け先で販売量は改善されず

問3】貴社の営業窓口から見て3月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		5	31	16	4	56	-34	-39
民間建設向		11	28	22	4	65	-29	-18
自動車向		4	18	16	4	42	-48	-46
その他需要家向		13	32	13	5	63	-16	-21
仲間取引		3	34	14	9	60	-48	-47
計		36	143	81	26	286	-34	-33
比率		13%	50%	28%	9%			

4. 新年度以降も需要は低調のまま

問4】貴社における向う4月から6月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	24	28	17	5	75	73
比率	1%	32%	37%	23%	7%	DI-1	DI+18

5. 合計D I 値マイナス、品種により若干だぶつき感見られる

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	品種別	A	B	C	D	E	計	3月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰		D I
-3	-15	0	-3	-14	-9	3	-10	-3	-6	-15	-17	-10	鉄筋用丸鋼		1	26	2	1	30	-10
-4	-11	8	4	4	14	25	14	11	6	-3	-7	-3	構造用丸鋼			25	4		29	-14
-3	-6	0	0	0	11	21	6	6	6	-10	-9	-9	平角鋼		1	26	4		31	-10
21	3	-3	6	23	33	48	41	43	35	20	7	0	H形鋼		3	21	4	1	29	-10
12	19	14	24	83	125	140	142	150	139	88	91	13	コラム		7	11	3		21	19
-8	-5	-3	6	-6	3	8	9	3	6	-11	-6	-15	小形山形鋼			27	7		34	-21
-11	-11	-6	-3	-9	3	9	9	8	3	-11	-6	-18	中形山形鋼			27	7		34	-21
-11	-11	-6	3	-16	6	8	9	11	6	0	-6	-9	溝形鋼		2	25	5		32	-9
-7	-6	0	17	39	50	73	68	65	34	19	0	0	軽量形鋼C形			26	1		27	-4
-5	-5	0	14	17	39	63	33	39	27	-5	6	0	軽量形鋼広巾			16	1		17	-6
127	132	148	158	162	166	158	123	110	79	45	24	3	冷延薄板		3	14	6	4	27	-41
106	105	100	123	133	133	118	103	83	53	35	17	-17	熱延薄板		1	21	10	1	33	-33
145	139	134	161	163	162	145	133	127	97	59	47	21	表面処理鋼板		4	19	8	2	33	-24
144	143	150	161	168	169	164	126	109	80	47	15	-15	酸洗鋼板		6	12	10	2	30	-27
93	84	95	104	116	113	114	100	76	43	30	10	-13	中板		3	29	6	2	40	-18
43	34	36	56	76	102	95	90	83	67	53	26	-3	厚板		3	31	5		39	-5
10	22	24	39	67	70	86	68	68	52	35	26	9	極厚板		3	14			17	18
19	26	13	45	43	64	41	52	41	33	7	14	3	縞板		2	21	4		27	-7
6	6	15	29	47	57	73	83	71	64	21	16	0	中径角			31	1		32	-3
-6	0	12	19	32	42	58	58	32	38	23	6	-3	ガス管黒		2	30	2		34	0
0	3	6	20	29	49	61	61	39	38	19	13	0	構造用鋼管		1	30	1		32	0
35	34	37	49	57	70	72	64	55	43	21	12	-4	計	0	42	482	91	13	628	-12

6. 中小物件が低調、自動車生産遅れ、市況に先高感

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	中小案件が少ない。信用不安が出てくるだろう。
	B	在庫販売は低調が続いている。物件の引合いは大、中、小と増えつつある。しかし、先納期物件の価格予想が非常に難しい。
	C	コロナの経済的影響か北海道の中でも、地方は公共関連、学校やJA関連などの案件はあるが、一般の民間投資が少なく心配である。
	D	ロシアのウクライナ侵攻により不安定な市況が予想されるが、こちらの地域ではロシアとの経済的な繋がりが強く、特に海産物の多くはロシアからの輸入に依存しているため、今後の地域経済への影響が懸念される。
東北	A	1月、2月と動きは悪く、自社在庫も大幅に増加した。価格転嫁も順次進めてはいるが、各種要因からの値上げはまだまだ続く模様でなかなか追い付けない状況。
	B	新規物件も少なく、価格だけは上昇。荷動きも悪く在庫も増加。コロナ、戦争、不安材料ばかり。

新潟	A	1月に比べて見積案件が増えている。需給状況のタイト感はなくなりつつあったが、ロシア問題での影響が懸念。
	B	雪も溶けて仕事量に期待しているが、世界情勢が不安定なことからメーカー値上げの先行きが懸念される。情報を共有していきたい。
	C	4月以降の引合いが多少出始めている。
	D	スクラップ、石油、食品など全ての物が上がっている。これらが値上げすると商売や生活に支障をきたす。生産にかかる副資材や運賃も上がり、工場原価も上がっている。ウクライナとロシアの戦争が一刻も早く終わってほしい。
	E	12月以降、建設機械を除いて、ほぼ全ての業種で需要が減少している。特に自動車部品が良くない。
	F	2月は1月同様に動きが良くなかったが、3月に入りウクライナ戦争の影響でスクラップ価格が大幅に値上がりした。今後また鋼材の値上げが予想されるが、需要家に対する説明を丁寧にしなければならない。
	G	首都圏案件を中心にファブは忙しそうだが、地場物件は少ない。自動車関連も新型ウイルスやサイバー攻撃、世界情勢など含め先々の見通しは不透明となっている。
川口		厚板の汎用品（SS400）を取り巻く環境は一般店売りでは引合いが弱く、在庫についても現時点では不足感はない状況。しかし、特殊な厚鋼板（熱処理鋼板や合金鋼）については、厚板工場の集約および生産性向上のためメーカーの受注回避等があり、今後の国内製造業の弱体化を危惧している。また、販売先ユーザーについては、急激な原材料、副次コストの上昇による利益の圧迫および急激な支払い造による運転資金の減少（枯渇）が危惧され、需要が急回復してきた時に資金ショートの高まっている。CO2問題を考慮すると、今後、鉄鋼製品の価格が昔の価格に戻ることは考え難く、また高炉品限定とされた設計思想も大きく変化するはずなので、各社在庫体制の見直しは必須と考える。
神奈川	A	建機製品に関しては多少、売腰の弱含みが感じられるが、新規案件の少なさも影響していると思われる。先行きはスクラップ、鉄鉱石、石炭等の値上げも予定されている。新年度から市況の動きも変わってくる。
	B	建設関連の注文は、現状を維持している状況。
	C	半導体関連の部品供給難で多くの分野で影響があり、特にトラック、ダンプ関連は1ヶ月先の生産量も読めない状況となっており、稼働は不安定。ロシア、ウクライナ侵攻で今後あらゆる分野に影響が波及し、注視が必要。
東京	A	（店売り）メーカーからの入荷状況も通常納期に戻っている。コロナの終息も不透明であり、引合い、売上は減少。（ユーザー）建設機械は引き続き好調だったが、ウクライナ問題もあり不透明な状況となってきた。
	B	2月は前年比および前月比ともに増加で見通しに明るい兆し。しかし、売り先では部品調達がままならず未成品の在庫増加で資金繰り悪化、支払い条件変更の申し出があった。徐々にだが、今後の取引に信用不安が増加しそうである。
	C	（鋼管）品不足と値上げが落ち着いたかに見えた。この3ヶ月だったが、世界的なインフレ、金利上昇、地政学リスクの高まりを見るにつけ、嵐の前の静けさと思わざるを得ない。地域の市中玉の増加などで右往左往せず、貴重な保有在庫を慎重に販売したい。
	D	建機関連の荷動きが引き続き好調に加え、民間土木向けのスポット案件も一部、荷動きが出てきた様子。メーカーからは更なる値上げの話があり、引き続きユーザーへの価格転嫁が課題である。
	E	店売り、仲間売りに関しては12月後半から荷動きが不調。
	F	前月に引き続き磨棒鋼は低調。今後、半導体の供給不足が解消されることに期待。

東京	G	2月販売量は門美が少ないこともあり、最低の数字であった。需要が少ない上に自動車の減産に伴って、メーカーのロールアップが早く、どこもかしこも在庫にあふれている。年度末にかけて当然メーカーからの引取り要請も厳しくなっている。とは言え、社外倉庫も置けるスペースなく困り果てている。自動車向け在庫は自動車メーカーの工場に仮置き場を作ってもらいたい。
	H	部品などの供給問題は依然として解決していない。ウクライナ侵攻の影響も今後懸念される。販価を大事に安値売込みの市況が崩れないよう心掛けていきたい。
	I	2月で取引先1件、競合他社2件が廃業となり厳しい状況を痛感している。
	J	鉄筋の在庫販売の動きは当用買い中心で細かい商売。しかし、ここへきてメーカーの売腰が強く、店売り市況も更に強含みとなっている。
	K	2月は前月同様の営業日数ながら売上金額、販売量ともに横ばいであった。先行きの不安要素が多数あり、需要回復は道半ばのようだが。
	L	自動車向け案件の部分が本当に静まり返っている。いつ増産になるのか、その兆しが見えてこないことには前進もないように思われる。
静岡	A	倉出し品の荷動き低調。年度末でもあり、在庫調整なのか品種に関わらず安値も散見される。原材料、メーカー動向ほか諸般の状況から今後の価格提示に慎重にならざるを得ない。建築に関しては大型案件は予定通り出件されているが、中小案件は見積りも少なく、小規模ファブの稼働率は落ちている。
	B	大手不足による加工図面作成、現場作業ともに遅延している。大手ファブ、大手流通加工業者も同様。鉄鋼商品市況欄に三桁単価の表示がされて久しいが、大型物件の相見積もりが徐々に厳しく提示され始めた感がある。加えるに鋼材市況が下がる等の根拠のないことを発注先に流す加工業者がいるように聞く。現にその旨を前提としたような見積依頼があり、同時に受注の可否が単価次第というニュアンスとなり、世界情勢による変化とは違う流れが業界にあるのかと思慮してしまふ。不良債権の発生は依然ゼロの状況。流通加工大手の設備投資（大型加工機導入等）は増加し、価格競争となるだろう。雇用条件に変化あり。5月GWもHグレードファブの仕事は山積みと聞いている。市況維持は当然だが、品薄感もない。ロシア、ウクライナ紛争の世界平和への各国制裁の余波（日本を含む）の影響はどうなるのか。
石川		モノ造りは、徐々に伸びているが、限定されている気がする（特に二次、三次、外注ユーザーにおいて）建業は一服状態だが、出件は都市部に集中している。土木は国土強靱化予算に準じて落ちてはいないが、総予算が物足りない。来年度からは予算枠を今より3倍にしないと迫力がない。特に山間部や過疎地に対し、治山崩壊防止を含めて重視すること、コロナの影響下でもあり、活力を落とさない様に強く希望する。
富山		建機は上場企業、官庁物件中心で個人企業向けは少ない。地元は修繕関係の小口物件中心。ウクライナ関係では、コマツ建機の東欧向けの生産動向は不明。
大阪	A	先月に続き景況感が良くない。相場を上げてく必要性を思うが仕事量があまりに少ない。コロナによる欠勤者が相次ぎ業務を遂行するのに苦勞。そんな最中のロシアによるウクライナ侵攻。どちらも私達に為す術がないのが悲しい。
	B	弊社の鉄筋用丸鋼は、当社では収支トントンの状態。地域事情により堅実経営である。
岐阜		建設、工作機械、航空機は全体的に少ない。工作機械は良いと言われているが当社では感じされない。3日間、暇な日が続くと心配。侵攻の影響もすぐに影響が出るとは思えないが。
岡山		材料は問題なく入ってきている。高炉のパイプは少々待つ事もある。ウクライナ情勢次第で鉄の価格も変わるだろうし、少々多めに在庫を持ちたい。

北九州		3月契約の電炉メーカーは値上げ。スクラップ動向やLNG（液化天然ガス）の問題もあり、来月も更なる値上げがあるとするならば、販売価格値上げをもたもたしている場合ではない。
福岡	A	需要のピークアウトをメーカーの団子出荷の影響もあり、需給バランスは崩れ、在庫負担が拡大。自動車の早期回復を期待するも「回復基調にある」と数ヶ月間、繰り返し聞いているが、回復は遅れ、状態は悪化している。
	B	中小物件が少なく、また九州地区以外からも業者が来ているため、地場の販売店の材料出荷に繋がっていない。